

2025(令和7)年

NEW YEAR MESSAGE

人間社会に共生する家庭動物たちに注ぐ想い

法人設立25年共生社会の実現に邁進

公益社団法人Knots 代表理事 富永 佳与子



新年おめでとうございます。平素より温かいご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

能登半島地震発災から1年が経過いたしました。改めて、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。仮設住宅の建設の遅れ等で、まだまだ大変な思いをなさっておられる方が多くいらっしゃると伺っております。

私共Knotsでは、「ずっと一緒に居ようよプロジェクト」として、被災された方のペット可住宅への入居に際して飼い主様に支援金をお送りする事業に取り組んでおります。詳細は当法人ウェブサイトに掲載しておりますので、QRコードよりアクセスしていただき、必要に応じて活用いただければ幸いです。

昨年は、10年振りに当法人主催のシンポジウム『人と動物の共生およびSDGs推進シンポジウム2024』ペットとの暮らしを活用する豊かな社会を可能にする環境整備」を開催でき、たくさんの方々のご参加を賜りました。

第1次ペットブームの頃から室内飼育と一緒に過ごせる「新しいペットとの暮らし」を開拓し、実現されてきた方々が高齢者といわれる年齢になつており、「高齢者のペットに対する意識は変化している」ことをお示し、「人とペットが幸せに暮らせる環境整備」という視点を持てば、「高齢者の自立した健康な暮らしの実現」や「ペットツーリズムを活用した観光振興は、地域振興ともなり、ITの活用がこれに大きく貢献できる」といった、新たな

視点の提示にも高い評価をいただき、講師や関係者同士の新たな関係構築の場ともなりました。

このシンポジウムの開催が、将来的には、日本における人と動物の共生の歴史の大きな転換点となればと期待しております。当日配布の抄録や開催報告書等のデータを、当法人ウェブサイトにて公開しておりますので、是非ご読ください。

さて、今年は、阪神・淡路大震災から30年を迎える節目の年です。日本で初めて組織だった動物救援事業が行われた、大震災の経験からの歩みに改めて向き合う大切な年になると思います。

当法人が、神戸市より管理運営業務を受託している「こべ動物共生センター」におきましても、防災に関する様々な取り組みを行っております。

組みを行っております。

令和5年8月に神戸市が作成した「災害時のペットとの避難ガイドライン」を活用し、子どもたちが楽しみながら防災意識を高め、同行避難の重要性を理解する「ペットと一緒に避難マップ作り」を継続的に行い、市民への周知を図っています。

1月26日(日)開催の「防災わんにゃんフェスティバル」においては、子どもたちが作成した避難マップの展示会と表彰式を行うほか、防災に関するセミナー、避難グッズの展示、防災ウォークラリー、VR地震体験車での地震体験、迷子札作り等を実施いたします。以降も、防災・減災・暮らしの安心を意識したプログラムを展開してまいります。考えております。

また、今年は、当法人

が人と動物の幸せな共生を目指し、有志で活動を開始し、法人を設立してから25年を迎える年でもあります。引き続き人と動物が幸せに共生できる社会の実現を目指し、邁進してまいります。今後とも、ご支援とご厚情を、宜しくお願い申し上げます。



【防災わんにゃんフェスティバル】



【人と動物の共生およびSDGs推進シンポジウム2024】



【ずっと一緒に居ようよプロジェクト 令和6年能登半島地震『ペットと暮らす住み手』に係る支援金』助成募集】